

事務事業名	国道54号三刀屋拡幅関連事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	都市計画グループ	課長名 藤原 昌弘
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	原 康朗	電話番号 0854-40-1064 (内線) 2454
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:1:4:0:0:8 1:0:1:5:0:5	大事業名 国道・県道整備事業 中事業名 国道54号三刀屋拡幅関連事業
目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度 ~ R6 年度)	国道54号三刀屋拡幅事業の施工に伴い、拡幅区間に取り付く都市計画道路である市道基町住宅線改良の測量、調査、設計、工事を行うものである。国道54号三刀屋拡幅事業との設計やスケジュールの調整を行い、手戻りの無いよう進める必要がある。 ・R5年度: 物件調査, 用地買収, 建物補償 ・R6年度: 改良工事
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・用地測量、物件調査業務 一式	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 国道54号三刀屋拡幅事業との工程調整及び地権者への説明を適宜行い、手戻りが無いように努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 整備率(改良延長/整備計画延長)	%	0.0	0.0	0.0	0.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【地方債】合併特例債		財源内訳	国庫支出金	千円				
委託費	4,252千円		県支出金	千円				
公有財産購入費	84千円		地方債	千円	0	0	4,100	61,300
計	4,336千円		その他	千円				
			一般財源	千円	0	0	236	3,300
			事業費計	千円	0	0	4,336	64,600

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	国道54号三刀屋拡幅事業の事業主体である松江国道事務所との協議調整及び、地権者への説明を適宜行うことにより、円滑な事業の実施に繋がっている。
② 事業実施するうえでの課題	国道54号三刀屋拡幅事業(松江国道事務所)との調整。 市道改良に支障となる建物・物件所有者の合意形成。
③ 課題解決に向けた改革改善等	各関係者(松江国道事務所・地権者等)との調整を密に行い、必要な手続きを早めに行うことで円滑な事業実施に務める。